

平田産業有限会社

御申

公開質問 食用油の原材料について

質問1 貴社製品原材料の原産国、非遺伝子組み換え原材料の分別状況についてお答えください。

製品	原料作物	原産国又は 国内産地	遺伝子組み換え		使用開始時期
			分別	不分別	
国産なたね油	ナタネ	北海道・青森・福岡・佐賀	○		2011年
純正菜種油一番搾り	ナタネ	オーストラリア	○		1999年

質問2 非遺伝子組み換えの原材料を使用している製品に関して、今後、遺伝子組み換えのものに変更する予定はありますか。予定の有無とともに、その理由もお答えください。

予定はありません

弊社は非遺伝子組換え菜種を原料とした菜種油専門メーカーです

質問3 遺伝子組み換えでない原材料の調達について、昨年度と比べて変化はありますか。

現状、調達量においては特に問題はありませんが、

原料価格は若干ですが上がり基調となっております

質問4 消費者のなかには、遺伝子組み換えでない原材料を求める声があります。今後、遺伝子組み換えでない原材料の製品を供給し続けるためには、どのような課題があるとお考えですか。

遺伝子組換えでない原料をいかに安定確保するか、だと思います

遺伝子組換えでない原料の生産には遺伝子組換え原料の生産に比べコストがかかります

そのため一般製品と比べて高くなりますが、消費者の方々のご理解とご購入によって、

需要と供給のバランスが成り立ち、その安定したサイクルが、

遺伝子組換えでない原料の生産につながり、原料の安定確保につながります

質問5 気候変動等により原材料の調達で最も課題となっていることについてお教えください。（例えば、干ばつによる収穫量の減少等、生産地の状況等）

異常気象の影響なのか、オーストラリアでも州によって乾燥状態が続き、

収穫量の減少は大きな問題となっております

質問6 搾油後の油粕や搾油中に出る副産物はどのように利用されていますか。（例えば、肥料や家畜の飼料、バイオディーゼル等）

肥料や家畜の飼料として販売しております

質問7 ゲノム編集由来の原材料が入手できるようになった場合、使用しますか。

 はい いいえ

その理由

遺伝子組換え作物と同様、ゲノム編集作物についても使用することは

考えておりません

質問8 産地から貴社製造工場までの原材料の管理・輸送方法について、お教えください。

現地にてコンテナに菜種を詰めて施錠、

弊社工場まで開封することなく輸送します

IP証明書などにより、遺伝子組換え作物の混入がないこと確認しております

質問9 原材料トレーサビリティについて

主原料の入荷記録の保存	(有)	無
製品の出荷記録の保存	(有)	無
製造ロットと出入荷ロットの対応付け記録の保	(有)	無

以上